

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達支援まるっときっず（放課後等デイサービス）		R 8 年 3 月 23 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		動けるスペースと落ち着けるスペースに分かれていて、目的によって使い分けができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		こどもの人数に対して、職員の数も適切に確保しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		仕切られた空間があり、児童が過ごしやすいよう工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日療育後に清掃を行い、清潔を保つようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		静かに過ごしたい児童がいる場合は仕切られた部屋に案内し、ゆっくりと過ごせるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		普段の活動時にも意識はしていますが、特にイベント時(土曜日)にはPDCAサイクルが機能していると感じています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		アンケートは初めてですが、児童本人や保護者の意向をくみ取るよう努力しています。	今回初めての評価ですので、この評価結果を職員で共有し、業務の改善につなげたいと考えています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の朝礼で昨日からの申し送りとともに、業務に関する職員の意見などを出してもらい、改善につなげています。また、複数の委員会を立ち上げ、各専門の領域で悩み事、支援の方法を話し合い、業務を改善していく計画をしています。	たくさんの職員の中ではなかなか意見が出しにくい職員もいると思うので、発言が中心となって職員一人一人の意見をすくい上げることができるような仕組み作りをしていきたいと考えています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在、外部評価は行っていません。	支援の質向上のため、積極的に活用を検討したいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		「安全・事故防止」「感染症」「虐待・身体拘束」の委員会を立ち上げ、それぞれの委員会に所属する職員が所内研修を行う計画をたてています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		玄関に掲示とファイリングしたものを置いています。保護者がいつでも手に取っていただけるようにしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		契約時にアセスメントを行い、計画を立てるようにしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全職員に一人ひとりの児童の普段の様子や困りごと、得意なことなどを聞き取りし、計画に反映できるよう心がけています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画が出来上がたら、職員に共有し、それに沿って支援を行うよう声がけしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		フォーマルなアセスメント結果に加え、日々の活動や遊びの中での様子を職員が記録し、朝礼や会議で共有することで子どもの適応行動の変化を継続的に把握できるようにしています。	フォーマルなアセスメントはよく使用しているが、インフォーマルの連携はご家族としかできていない現状があるので、フォーマル、インフォーマル両方との連携を大切に子ども適応行動状況の把握をしていきたいと思います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		「本人支援」、「家族支援」など項目ごとに計画を立て、具体的な支援ができるような内容にしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		チームで考える時と個人で考える時と両方あります。	チームでの話し合いを強化していきたいと考えています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節に応じた活動内容やこどもの発達段階や興味に応じた活動内容を柔軟に取り入れています。2～3日おきに違う活動をしています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動は専門的支援の計画、集団活動は個別支援計画と2つの計画を作成し、その計画を元に支援を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝朝礼を行い、個別、集団それぞれの支援内容を職員間で共有し、共通理解を図っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後に話し合いはできていません。	送迎の関係もあり、現状は朝礼しか行っていないのでその日中に支援の振り返りの時間を少しでもとれるよう工夫したいと思います。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日の支援後に個人の記録と全体の記録をとっています。	記録で気づいたことを支援の改善にできていないこともあるので、検証し、改善につなげていけるよう工夫していきたいと考えています。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に1度モニタリングを行って計画を見直しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		なるべく組み合わせ合わせて支援を行うようにしているが偏りがあるかもしれません。	「地域交流の機会の提供」は公園の利用のみになっているので、他の地域施設を利用したり、地域イベントへの参加も検討していきたいです。
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		おやつを決める時、読む絵本を決める時など小さなことにも選択制を取り入れています。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者もしくは直接支援に関わっている保育士等が参加しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		近隣の医院と医療連携を結んでおり、こどもの体調悪化やけがの際にはすぐに搬送できる体制を整えています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校の月間の行事予定を確認したり、担任の先生や支援学級の先生と連絡を取り合っています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学前に通っていた園などは情報共有はできていません。	相互理解を深めるために、連絡を取ってきたいと思います。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		対象児がまだいないため評価できません。	事業所の対象児が小学生までです。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		現時点では地域の児童発達支援センターからスーパーバイズや助言を受ける機会を十分に設けることができていません。	今後は必要に応じて児童発達支援センターへ相談する機会を設け、専門的な支援を活かせるよう連携体制の構築を検討します。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		今のところありません。	放課後児童クラブとは時間が合わず、一緒に活動は難しいと考えます。児童館は地域に存在しません。地域のお子様と交流できる機会を探していこうと思います。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		2月末に協議会全体会へ児発管2名で参加してきました。これからも全体会、部会とも積極的に参加していく予定です。	
34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や日々の活動の報告の際に、保護者と情報共有をしています。		
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		現時点では保護者会を行っているのみです。	ペアトレに関しては研修を受けた職員がいますので積極的に取り入れていきたいと考えています。	
36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時にお話させていただいていますが、丁寧な説明ができていかどうかはわかりません。	今後、丁寧に説明できるよう工夫していきたいと考えています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		計画作成前のアセスメントやモニタリングで必ず意向をお伺いするようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		保護者に計画書を示し、目標や支援内容を一緒に確認して同意のサインをいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		面談のご希望があれば、すぐに日にちを設定しています。	相談の機会を広げていくよう努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		保護者会は年に2回開催予定、きょうだい児参加イベントは年に1回開催予定です。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情に対する窓口を設置しており、契約時に保護者にアナウンスしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタグラムやHPに活動の様子を不定期でアップしています。また、4、7、10、1月には紙面による通信を発行予定です。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人ファイルは鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		子どもの発達段階や特性に応じて、言葉だけでなく視覚的なてがかりやホワイトボードなどの具体物を用いながらわかりやすい伝え方を心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		昨夏に開催した夏祭りは、地域の方も自由に参加できるようにアナウンスしました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	火災や地震の避難訓練、不審者対策は委員会を設置していますので、今後その委員会を中心に訓練等実施する予定です。	保護者には訓練後にしっかりと内容を伝えていこうと思っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	BCPは策定済みです。	災害に対する訓練は2月から順次行っていますが、避難訓練が8月なので避難場所等しっかりと職員同士で確認したいと思っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時に聞き取りしています。	現利用児に日常的に服薬や発作のあるお子様はいませんが、今後のために情報共有のためのツールを作成したいと考えます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		利用児童のアレルギー一覧表を作成し、重度のアナフィラキシーショックが起こった場合を想定して救急搬送までの手順を記載したものを掲示しています。保護者の電話番号も一覧表に載せているので、個人情報が洩れることのないように職員しか立ち入れない場所に掲示しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画は作成済みです。	訓練や研修は随時行っていく予定です。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		子どもの安全確保の取り組み内容をご家族様には周知できていない現状があります。	この先、ご家族様に安心してまっとうとくっずをご利用いただけるよう取り組み内容の周知を徹底したいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		ヒヤリハットがあれば全職員に報告し、記録を残すことを徹底しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止責任者養成コースを受講した職員を中心に所内研修を5月に行う予定です。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		6	身体拘束について、個別支援計画に記載し保護者から了承をいただいています。		